

東京パラ目指す倉内さん

# 「夢見つけ諦めないで」

## 母校の青森二高養訪問

青森

青森市の青森第二高等養護学校（川村泰弘校長）は

7日、同校の卒業生で、2020年のパラリンピック

東京大会出場を目指し陸上競技に励んでいる同市の倉

内未さん（22）にヒロフーズIIを招き、講演と実技

指導の授業を行った。倉内さんは在校生に「夢を見つ

て諦めず、大人になってほしい」と語りかけた。

倉内さんは同市出身。先天性の知的障害があるため

通った同校1年の時、中距離選手として陸上を始め

た。2013年から走り幅跳びを始め、同年10月のアジアユースパラ競技大会で

優勝。14年10月の仁川アジアパラ大会で3位に入った。パラリンピックのリオデジャネイロ大会出場はかなわなかったが、青森市内のファストフード店で正社員として働きながら、東京大会出場を目指している。

7日、同校

体育館に在校

生103人と

青森東高校の

陸上部員約20

人が集まった。

倉内さんは

在学中の思い

出や競技の実績、仕事の様子などを、

スライドを使い説明。恩師

と一緒に約1時間講演し

「夢を見つけ、諦めないで」と講演で語った倉内さん



た。その後はグラウンドに出て在校生に実技を指導。一緒に走って体を温めると、走り幅跳びの試技を目の前で見せて、生徒たちを沸かせていた。青森二高養

陸上部主将の石ヶ守達也さん（3年）は「自分も陸上で五輪を目指したいと思って。倉内さんの話を聞いて勇気が湧いた」と話している。（山口拓郎）